

卒論・研究テーマ発表の要領（江里口ゼミ，2024年度）

ver.1（2024年4月配布）

卒論は「壮大なる引用作業」。研究テーマに関する先行研究（文献）から学びます。使えそうな「引用文」を引っ張って、貼り合わせ、一つの流れにつなぎ合わせる作業です。全ての文献をリスト化し、ここは誰の何年の文献から、ここは,, , というように、「引用文」の出典を本文・注に付けて（参照作業）、目次作成→並べ替え→目次修正→並べ替え,, , をしていきます。そうすると先行研究に何が足りないか見えてきます。さらに、文献を集め、「引用文」と「引用文」の間に、自分の言葉をどんどん書き足して、文体を統一します。先行研究における問題点を整理して、自分なりの考えを入れ込むと、卒業の形は整います。

文献とは

- (1) 論文： 著者，年号，出版機関（大学など）の明確な20頁ほどの文献 cinii で検索
- (2) 書籍： 本のこと amazon や 西南図書館 など で検索

ネット記事は学術的な信憑性がないので不可になります。ネットからのコピーは、卒論提出段階で AI 判定されて厳しく罰せられます。

①研究テーマ相談（4～6月）

教員との面談を通じて、テーマを具体化 1人ずつ面談（1人，10分程度）

関係する文献を全部持ってくる。文献の探し方。 <http://www5f.biglobe.ne.jp/~eriguchi/3bunkenkensaku.htm>

文献が確保できればOK テーマが良くても文献が無ければ不可

②研究テーマ発表（10月頃）

1人10分（5分説明，5分質疑），レジュメ（A4 1枚+文献3本以上）

何をテーマにするか，文献の状況についてプレゼンする。フロアは，質問を通じて発表者のテーマを自覚させる手助けをする。

評価ポイント：テーマの具体性，文献の入手状況

書式：自由（できるだけ研究構想発表↓に近づけてみる）

③研究構想発表（11月頃）

1人20分（10分説明，10分質疑）

研究構想についてさらに具体的に説明。フロアは質問を通じて，発表者がムリのない研究計画を持てるように促していく。

評価ポイント：

文献準備 使える文献を，コピーしてどれだけ手元にもっているか？

起承転結の章立てが出来ているか？

書式 レジュメ1枚，文献1枚（↓）

研究テーマ：「環境問題の思想変遷について」

研究構想発表レジュメ

目次

第1章 はじめに

起

第2章 環境問題をめぐる諸学説
 第3章 日本の現状と対策の遅れ
 第4章 むすびに

承
 転
 結

↑起承転結の、「承」と「転」との異なる切り口の構図が出来ていれば良い。

内容説明：500字以上

○○○○○○○○○・・・
 ・・・・○○○○
 ・
 ・
 ・○○○○

1 ページ

文献リスト (10本程度)

Bibliography

江里口拓 (2006)「ウェブ夫妻における福祉政策と地方行政」秋田清編『環境としての地域』晃洋書房
 江里口拓 (2007)「介護保険と低所得者世帯」『社会福祉研究』愛知県立大学文学部社会福祉学科, 8巻
 小峯敦 (2007)『福祉国家の経済思想』ナカニシヤ出版

2 ページ

④期末レポートの作成 (後期の最後)

暫定締め切り日：1月30日(木) 応談可、あまり引っ張ると苦しい！
 字数：4,000字以上

字数さえ満たせば、執筆の途中という体裁でかまわない。見栄えを良くするために労力を使う必要はまったく無し。草稿はグチャグチャで汚いのが本当。途中が書きかけでも、どこか変でもOK。
 提出後、4年前期の就活で半年休止するので、後に自分で思い出せるように備忘事項も書いておく。

研究テーマ：「★○☆○について」

4,123字

氏名

目次

第1章 環境問題をめぐる世論の動向
 第2章 環境問題をめぐる諸学説
 第3章 日本の現状と対策の遅れ
 第4章 必要な政策合意

